

チーム名
【アルビス前原ケア連】

活動の概要

開始時期	令和 5 年 3 月
活動場所	アルビス前原 集会場
活動内容	<p>月 1 回アルビス前原集会場にておしゃべりサロンを開催。認知症の理解啓発、介護者家族の交流機会、本人の参加による地域とのつながりの場としていき、地域からの気になる認知症の方や家族に声を掛け、本人のやりたいことや意欲につながるサポートをしていく。また月 1 回のチーム活動とは別に、必要に応じてチーム員の自宅訪問による話し相手、サロン参加の促しなどの出前方式も行い、自治会館も活用していく。なお月 1 回チーム員による定例会を行う。</p> 
活動頻度	<p>おしゃべりサロン：月 1 回（第 4 火曜日 13 時～14 時） 定例会：月 1 回（第 4 火曜日 14 時～15 時） その他必要に応じて</p>
参加費	なし
メンバー構成	<p>コーディネーター 2 名（包括職員） リーダー 1 名（住民サポーター） 住民サポーター 3 名 職域サポーター 12 名（UR 職員、居宅介護事業所職員） 認知症の人本人 4 名 認知症の人の家族 3 名 計 25 名</p>
チームの アピールポイント	<p>「おしゃべりサロン」は認知症の人、介護者、地域住民問わず自由に参加可能。サロンの中で認知症の人、家族、地域住民との交流の場であり、認知症や介護予防などの情報交換や専門職との相談により、対応の仕方の共有やご本人のアプローチを共有している。時には認知症のご本人宅に訪問して、話し相手やサロンにお誘いもしている。サロンはおしゃべりだけでなく、認知症の人や家族などとやりたいことや興味あることを共有して、次回の内容を</p>

決めている。認知症の人や家族、高齢者などの居場所となるようオレンジサポーター（チーム員登録者）が自然にサポートしている。またサロンだけでなく、地域での声かけや地域活動でもオレンジサポーターがサポートしてくれており、一緒に地域で暮らせる仲間としてチーム活動している。